

様式 - 1

平成26年度 当初予算 公共事業評価システム 個別サマリーシート(新規事業)：事業地区・箇所別概要 (1

1 事業の基本データ

計画事業名	事業CODE	事業名	地区・箇所・路線名	
		県営水産生産基盤整備事業	舟越地区	
事業担当課	課CODE	担当課	担当班	電話番号
	140140	水産基盤整備課	漁港・海岸整備班	059-224-2598
事業施工場所	CODE	地域(市部・郡部/一般・過疎・準過疎)	市町字名	
	60	伊勢志摩 郡部 過疎	鳥羽市 答志町・桃取町	
事務事業名	県営水産生産基盤整備事業			
基本事業名	水産生産基盤の整備			
公共事業評価システムにおける分野名	食の安定供給			

2 事業計画の概要

事業計画の概要				
防波堤	30m		事業着工	2014年度
突堤	40m		事業完了	2018年度
岸壁	250m		供用開始	2019年度
浮桟橋	1基		B/C評価期間	50年
			全体計画事業費(億円)	9,000
			全体計画工期(年数)	5年
事業の目的				
当事業は伊勢湾内で操業する小型漁船の出入港時における安全な航行及び風浪による港内静穏を確保するため、防波堤・突堤の整備を行うとともに、陸揚げ作業の効率化を図るため、浮桟橋の整備を行う。 また、防災拠点漁港として地域防災計画に位置付けられることから、緊急物資の確保や早期の漁業活動再開のため、耐震強化岸壁の整備を行う。				

3 経済効率性評価(費用便益分析)

計算テーブル	便益分類			便益(億円)
テーブル1	自然防御機能維持	自然防御機能維持便益	水源の涵養便益	
			土砂流出等の災害防止便益	
テーブル2	土砂流出等の災害防止 洪水等の災害防止 高潮・波浪・浸食等の災害防止	災害防御機能拡充便益	人的被害軽減便益 資産被害軽減便益 営業停止損失軽減便益 応急対策経費節減便益	
テーブル3	アクセス環境の向上	アクセス機能向上便益	アクセス時間短縮便益 アクセス経費節減便益	
		交通事故減少便益	人的被害軽減便益 資産被害軽減便益 応急対策経費節減便益 事故渋滞便益	
		環境改善便益	大気質汚染抑制便益 騒音被害軽減便益	
		待避・避難機能向上便益	待避・避難時間削減便益 待避・避難経費削減便益	
		快適性向上便益	歩行者便益	
		交通遮断防止便益	アクセス時間増加抑制便益 アクセス経費増加抑制便益	
テーブル4	生活環境の向上	水質汚染抑制便益	水質汚染抑制便益	
		家畜排泄物処理便益	家畜排泄物処理便益	
		大気質浄化・騒音遮断等便益	大気質浄化便益 騒音遮断・飛砂等軽減便益	
テーブル5	レク機能等の提供	余暇空間創出便益	余暇空間創出便益	
テーブル6	生産性の向上	生産効率向上便益	労働時間短縮便益 生産経費節減便益	0.20 1.77
		生産基盤拡充便益	単位生産量増便益 生産規模・機会増便益 耕作維持・利水便益	4.13
テーブル7	その他	土地創出便益	土地創出便益	
		更新便益	更新便益	
		廃用損失	廃用損失	
粗便益 (現在価値合計)：B'(億円)				6.10
テーブル8	環境評価	自然環境	WTP × 受益世帯数	
		景観	WTP × 受益世帯数	
		文化	WTP × 受益世帯数	
		快適性	WTP × 受益世帯数	
		安全・安心	WTP × 受益世帯数	
粗便益 (現在価値合計)：E(億円)				0.00
粗便益 (現在価値合計)：< B' + E >(億円)				6.10
地域	伊勢志摩	に対応した地域係数-----		1.4
便益(現在価値合計)：B(億円) ((B'+E) × 地域係数)				8.54
費用(現在価値合計)：C(億円) (費用計算テーブルより)				7.93
費用便益比：B/C				1.08

費用便益分析に関する特記事項

このシートの費用便益値は、三重県方式により算出したものであり、国の定めた算出手法とは異なります。

様式 - 2

平成26年度 当初予算 公共事業評価システム 個別サマリーシート(新規事業)：事業地区・箇所別概要(2)

1 事業の基本データ

計画事業名	事業CODE	事業名	地区・箇所・路線名	
		県営水産生産基盤整備事業	舟越地区	
事業担当課	課CODE	担当課	担当班	電話番号
	140140	水産基盤整備課	漁港・海岸整備班	059-224-2598
事業施工場所	CODE	地域(市部・郡部/一般・過疎・準過疎)		市町村字名
	60	伊勢志摩	郡部 過疎	鳥羽市 答志町・桃取町

2 政策的重要度評価(個別評価)

(a) 戦略性

【全分野共通要件】

1	
2	みえ県民力ビジョンを補完する個別計画に位置づけられている事業
3	

(具体的な内容の記述<上記の補足事項>)

舟越漁港は、三重県地域防災計画において防災拠点漁港に位置付けられ、耐震強化岸壁の整備により緊急物資の輸送拠点となる。
--

(b) 緊急性

【当該事業分野の事項】

	過疎化、高齢化の進展による集落機能の低下や耕作放棄地の増大等が進む地域において、公益的機能を維持するために早期に整備が必要な事業
	広域的な漁協合併を推進・支援し、生産効率を高めるため緊急に整備が必要な水産基盤整備

(具体的な内容の記述<上記の補足事項>)

答志島内の漁船は、本土への避難を行っているが、漁業者の高齢化が進む中で荒天時には危険を伴っている。島内での避難が可能となれば負担が軽減されるとともに、操業日数の増加が見込まれる。 また、海苔加工場が整備されていることから、海苔の陸揚用浮棧橋の整備が求められている。

(c) 熟度

【全分野共通要件】

1	
2	
3	協力体制があり、整備に対して熱心な要望がある事業

(具体的な内容の記述<上記の補足事項>)

地元より陸揚作業及び避難の軽減について強く要望されている。

【評価結果(優先度判定の結果)】

--